

志

Kokorozashi

学校だより 第4号

令和8年6月23日発行

内外海小学校



Let's make our DREAM Come True

体育大会 ありがとうございました！

保護者・地域の皆様、6月6日の体育大会にはご多用の中、ご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちは練習の時以上に張り切っており、「おうちの方」「近所の方」の存在の大きさを実感しました。自分たちのがんばりを見てもらえること、応援してもらえることが子どもたちの「がんばろう」の源になっていました。

また、テントの撤収や重し、長机の運搬など後片付けについても、保護者や地域の方々「軽トラに乗せたらいいわ」「このくらい運んであげるで～」と快く手伝ってくださいました。本当に助かりました。このようなおうちの方の姿が子どもたちの心にも残ったと思っています。

保護者・地域の方こそ内外海小を支える大きな力、内外海小の宝をだと改めて感じる一日でした。ご協力いただき、ありがとうございました。



「遠泳大会」を考えるp4c対話

6月18日、5・6年生が合同でp4c対話を行いました。内外海の伝統となっている遠泳ですが、この行事に臨む子どもたちは、どのような思いを持っているのでしょうか。対話の一部始終を興味深く聞かせていただきました。□は子どもたちの問いや疑問、○は出た意見です。

プールではなく、なぜ海で泳ぐの？プール遠泳ではだめなのかな。海は危険なのに、どうして海なの？

- 海だと深いところで泳げる。
- 深いところは怖いけど、その分自信がつく。
- 休みの日に海で遊ぶ危険も学べる。
- プールだと何周もしなくてはいけない。
- 内外海の豊かな自然で泳ぐため。
- プールは同じ景色だけど、海はいろんな景色で楽しい。



- プールだと、大人数でやるから狭い。海は怖いけど、サップで落ちても泳げるように。
- 津波が来たら足がつかない。そのときちょっとでも安心できる。
- プールは泳ぐだけ。海だと生き物観察できる。
- 海だと見てくれる人がいる。一緒に泳いでくれる人に感謝できる。



なぜ遠泳大会をするの？

- バディとしゃべりながら泳げるから。
- 自信がついたり、勇気がいることだし、メンタルを強くする。
- 内外海だからこそ見える景色を見ながら泳げる。
- 近くに海がある内外海だから。
- バディで話せるから楽しい。
- 協力して楽しくできる。
- 家の人が海の方が浮くって言っていた。

(教員より) そうはいつでも納得のいかないこともあるんじゃない？

- 別の学校は自分の泳げるところまで泳いだらいいみたい。距離が200メートルの学校もある。なんで内外海は500メートルも泳がんなんのか。
- 自然を生かすためだと思う。
- プールの学習と海の学習で差をつけるため。
- 長く泳ぐと海が好きになるかもしれないから。
- 他の学校より長く泳ぐため。
- 海の生き物とふれあうためだと思う。



(教員より) 海の生き物とふれあうのなら泳ぐ必要はないんじゃない？



- 生き物は動くから追いかけないと。
- 海でおぼれそうになったらトラウマになるんじゃない。
- 海でおぼれないようにしてくれる。だからおぼれない。
- 下向きに考えてしまうけど、前向きになってまた「やってみよう」と思えるといい。
- おぼれないように練習する。

どんな感じだと泳ぎやすい？テンション上がる？

- みんなが同じ目標に向かったら…団結力？一つになっている感じ。
- イヤーという感じだと(気分が)上がらない。何人か楽しい雰囲気を作ると(気持ち)が乗せられる。



(教員より) やっぱり怖いなど思っている人? →ここで、複数の児童が挙手しました。

○おぼれそうで怖い。

どうやったら溺れないかな?

- 浮いとけばいい。
- 浮いとくだけでは進まない。
- 練習すればいい。
- 例えば?
- 自分の泳ぎやすい泳ぎ方を見つける。
- 近くの人にコツを教えてもらう。
- △△さんと同じ意見で、浮いて泳いでを繰り返していけばいい。
- 人と合わせて泳ぐのが大事。遅い人を待ってあげる。自分だけじゃなく周りに気を配って泳ぐ。
- 先頭の方は泳いで、泳ぐのが苦手な人は先生と背浮きで待たせたい。



バディってなんで要るん? 泳ぐスピードを合わせるのは難しいのに…。



- 一人だと苦しくなったり、できないってなったりして、もがき続けることになる。二人で高め、励まし合うことができる。
- 二人でいれば、一人がけがしたときも知らせられる。
- バディを作る方が確認しやすい。
- たしかにバディがいてこそだなと思った。
- 一人だと速く泳がなきゃとか思ったり、誰も助けてくれないってなるけど、「この人(バディ)がいる」って安心。
- バディだけでなく、クラスの安心感もある。いろんな人が周りにいる。

○バディでいた方が安全。いつもは助けてもらうときに大人や先生がいるけど、もう高学年やし、自分たちで助け合えるといい。ふだんの生活でも。



対話を終えての子どもたちの感想



- 他の人の意見が自信につながった。
- 同じ気持ちの人が見つかった。
- 不安が薄れた。
- もともと楽しみだったけど、もっと楽しみになった。
- 怖いな、不安だなんて思っている。でも周りやバディに感謝したい。「すごく楽しみ」ではないけど、遠泳大会でつく力をつけたい。
- この p4c で自信がついたらいいな。

○みんなのいろんな問いが繋がって疑問がなくなった。

○楽しみを育てていきたい。

子どもたちの対話を聴いての感想(校長より)

不安や怖さ、疑問などを出してくれたことをうれしく思いました。マイナス感情を出せる教室、学校であると感じてくれているのだなあとと思ったからです。学校は、「前向きさ」「明るさ」が求められやすい場ですが、内外海小学校は、誰にでもある「後ろ向きな気持ち」を誰かが受け止めてくれる場だと感じてくれているのだとしたら、本当にうれしいことです。

また、「どうしたらおぼれない？どんな感じだとテンションが上がる？」と問いが出たときに、それぞれがじっくり考えていたことも素晴らしいと思いました。この先も、思い通りにいかないことや困難なことが起きますが、どう乗り越えるか（どうやり過ごすかも含めて）は、生き方の学習でもあると考えています。

「練習する」「自分の泳ぎやすい方法で泳ぐ」といった意見からは、真正面から立ち向かおうとするたくましさや自分の得意なところで勝負しようとする工夫が感じられました。

この他に、「浮いている」「浮いて泳いで…を繰り返す」と意見が出ていました。人間ですからいつも全力とはいきませんし、浮きながら自分のエネルギーを貯めたり、がんばったり休んだりを繰り返しながら過ごす時期もあると思います。そういう処世訓のようなものも子どもたちの発言から出ていて、しなやかさや臨機応変さも感じました。

さて、遠泳大会まで約2週間となりました。保護者・地域の皆様には、練習時・当日ともに大変お世話になります。この行事を通じて、子どもたちが仲間や地域とのつながりに感謝したり、自分の成長、集団としての成長を実感したりできるよう、準備を進めていきます。保護者・地域の皆様、何卒ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

7月の予定

- 1日(水) ドラムサークル
- 2日(木) 海練習
- 7日(火) 海練習
- 9日(木) 遠泳大会
- 10日(金) 遠泳大会予備日
- 14日(火) 水泳学習参観日
- 16日(木) 保護者会
- 17日(金) 終業式



2学期の主な行事等

- 8月31日(月) 2学期始業式
- 9月1・2日(火・水) 校内実力テスト
- 9月 8・9日(火・水) 自然教室(5年生)
- 9月13日(日) PTA奉仕作業
- 10月 7日(水) 市陸上記録会
- 10月15日(木) マラソン大会
- 10月28・29日(水・木) 修学旅行(6年生)
- 11月 7日(土) PTA親子レクリエーション(未定)
- 11月12日(木) 市小中音楽会(4・5年生)
- 11月18日(水) 市特別支援学級合同学習会
- 12月 2・3日(水・木) 県学力調査(5年生)
- 12月22日(火) 保護者会
- 12月23日(水) 2学期終業式

職員より一言

〇〇 〇〇 〇〇

一人暮らしを始めてから、毎日のご飯作りに大苦戦しています。いざキッチンに立っても「何を作ればいいのか」と冷蔵庫の前で考えることも珍しくありません。栄養やバランスを考えながら毎日、当たり前のように料理を用意することの大変さが身に沁みてわかりました。

これからは、自炊のレパートリーを少しずつ増やし、手際よく作れるようにすることが今の自分の目標です。

